



学校だより かわきた

「自律～自分から～」 「協働～仲間と共に～」 「挑戦～ねばり強く～」



令和8年7月16日
川北町立川北小学校
校長 笹谷 真理子

「想像力」のスイッチを入れて、実りある夏休みを

18日からは、待ちに待った45日間の夏休みが始まります。この長い休みを前に、終業式では子どもたちへ「想像力（そうぞうりょく）」についてのお話をします。ご家庭でもぜひ、ひとつの話題にしていいただければ幸いです。

今の行動はどこにつながっているのか

★ゲーム漬けの毎日を送ったら？



画面に熱中している時間はとても楽しい瞬間に思えます。でも、それを1ヶ月、毎日何時間も続けたらどうなるでしょう。夏休みの終わりに残るのは、疲れた目と、重くなった体、そして「何もしないまま休みが終わってしまった」という、ちょっと寂しい後悔かもしれません。

★宿題をずっと後回しにしたら？

「明日やればいいや」を毎日繰り返した先にある、8月31日の自分の姿を想像してみてください。まだやっていない宿題を前に、泣きそうになりながら鉛筆を持つ自分。そんな終わり方は、せっかくの夏休みの思い出が台無しになってしまいます。

★友達に心ない言葉をかけたり、冷たい態度をとったりしたら？



その瞬間は、ほんの軽い気持ちや、イライラした勢いだったかもしれませんが、言われた相手の心には、ずっと消えないトゲが刺さったままになります。そして2学期が始まったとき、その友達はどんな気持ちであなたに会うでしょうか。

「これをしたら、この後どうなるか」を、行動する前に一歩立ち止まって考えましょう！

【保護者の皆様へ】子どもの「想像力」と「自立」を育む夏に

子どもたちにとって夏休みは、解放感に満ちた特別な時間です。同時に、学校という生活リズムの枠組みから離れ、「自己管理能力」が試される場でもあります。

つい「早く宿題をしなさい!」「ゲームはやめなさい!」と言いたくなってしまう場面も増えるかと思いますが、一歩引いて子ども自身の「想像力」を促す声かけを意識してみてください。

- ・「今ゲームを長引かせたら、夜の自由時間はどうなるかな?」
- ・「宿題を先に終わらせておくと、お盆休みはどんな気持ちで過ごせると思う?」

「自分の行動の結果を予測させる問いかけ」をすることで、子どもたちは自分で考え、選択する力を身につけていきます。失敗することもあるかもしれませんが、それも大切な経験です。

子どもたちが自分で自分の気持ちをコントロールし、少しでも自信をつけて2学期に戻ってくる姿を楽しみにしています。

健康で安全な夏休みであることが第一です。事件や事故、熱中症などには十分お気をつけいただき、ご家族で楽しい思い出をたくさん作ってください。2学期の始業式で元気いっぱいの子どもたちに会えることを、教職員一同楽しみにしています。

★★★★★★★たくさん学んだ1学期★★★★★★★

この1学期、子どもたちは何事にも、素直に耳を傾け、一生懸命に取り組む姿をたくさん見せてくれました。日々の学びを通して、心も体もひと回り大きく成長したと感じています。保護者の皆様、温かいご支援とご協力を本当にありがとうございました。



重要!

8(土)～16日(日)は学校閉庁期間で、学校の電話がつながりません。

緊急の連絡については、川北町教育委員会(277-1151)をお願いいたします。

必要に応じて、折り返し等対応させていただきます。

- 事故、事件に遭われたとき
- 病気、けが等の入院
- その他、緊急を要すること



おらせ

終業式で3名の職員とのお別れがあります。

なでしこ学級担任 岩下美紅先生

級外 新田智治先生、

校務士 中西小夜子さん

お世話になりました。

2学期からのご活躍をお祈りしています。